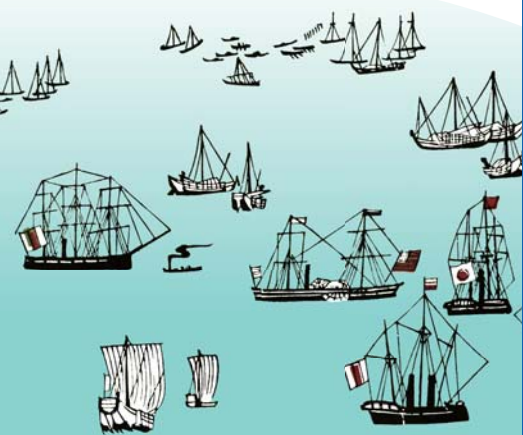




(右上) 神戸高等商業学校の菊水の徽章(1903(明治36)年制定)
 (右中) 御影師範学校「塗板書練習」(1909(明治42)年頃)
 (右下) 神戸高等商業学校の本館(1909(明治42)年頃)
 (左上) 日清戦争頃の神戸病院スタッフ(1894(明治27)年頃)
 (左中) 神戸医学校生徒の講義ノート(1885(明治18)年)
 (左下) 「開港神戸之図」(部分)(1868(慶應4)年4月)

明治期の神戸と神戸大学

—「明治150年」記念—



【展示案内】 ※展示の見どころをご案内いたします。
 10月30日(火)、11月3日(土・祝)、11月8日(木) (各日12:15~(約30分))

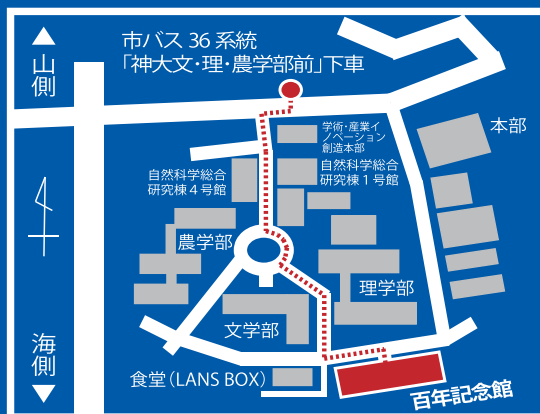
2018年
 期間／ 10月25日 木 — 11月16日 金 *土・日・祝日も開館

時間／ 9:30-17:00 入場無料

場所／ 神戸大学百年記念館 1階 展示ホール

〔交通案内〕 阪神「御影」駅・JR「六甲道」駅・阪急「六甲」駅から市バス36系統「鶴甲団地」又は「鶴甲2丁目止り」行きに乗車、バス停「神大文・理・農学部前」下車、南へ徒歩約5分

主催／ 神戸大学 大学文書史料室
 (お問い合わせ先／電話 078-803-5035)



明治期の神戸と神戸大学

——「明治150年」記念——

今年「明治150年」にちなみ、主に明治期における神戸と神戸大学前身校の諸相について、貴重な歴史資料や写真などで振り返ります。皆様のご来場をお待ちしております。



兵庫県師範学校 ▶

1898(明治31)～1900(明治33)年頃神戸下山手通の現在の兵庫県庁所在地にあった。1900(明治33)年兵庫県第一師範学校と改称し、御影に移転、翌年に御影師範学校と改称した。



▲ 日清戦争頃の神戸病院スタッフ

1894(明治27)年頃。翌年、俳人・歌人の正岡子規が、従軍後の船上で結核のため咯血し、この神戸病院に入院した。



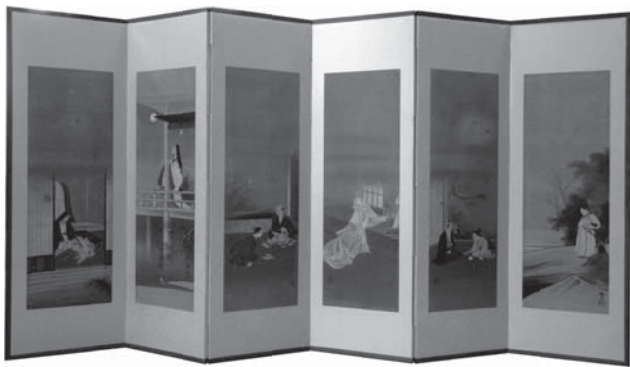
▲ 日英博覧会での御影師範学校の展示

1910(明治43)年、イギリス・ロンドンで開催の日英博覧会で、御影師範学校が紹介された。(神戸市立中央図書館所蔵)



▲ 姫路師範学校の寄宿舎の食堂

1911(明治44)年頃。初代校長の野口援太郎は、伝統的な全寮制軍隊式の寄宿舎制度を、従来の「兵営流」から「家族的」なものに変えようと奮闘した。



▲ 六婦人の肖像画の屏風 【初公開】

1908(明治41)年制作。当時の女性の理想像(婦徳の象徴)として模範とされた六婦人の肖像画(右から、神功皇后、滝鶴台の妻、松下禅尼、山内一豊の妻、紫式部、楠木正行の母)。明石女子師範学校の講堂に飾られていた。



▲ 神戸高等商業学校の語学部第1回語学大会(英語対話)

1907(明治40)年2月。学生会語学部主催で毎年英語・ドイツ語・フランス語・中国語などの外国語劇の公演を行った。



◀ 学生時代の高畑誠一

鈴木商店ロンドン支店長・日商会長の高畑誠一は、神戸高等商業学校1909(明治42)年卒業生。



▲ 菊水の徽章が入った盃 【初公開】

1920(大正9)年制作。1903(明治36)年制定の神戸高等商業学校の徽章は、水島鏡也初代校長の発案により、地元神戸の別格官幣社・湊川神社の紋「菊水」をもとに作られた。



▲ 田崎慎治告別式における上塚司の「弔辞」

アマゾン産業研究所理事長で神戸高等商業学校出身の上塚司(衆議院議員)は、田崎慎治(神戸商業大学初代学長)の告別式で、田崎が神戸からのブラジル移民を長年支援したことに感謝する弔辞を読んだ。